

# 世の中を知る、考える、 変えていく

——高校生からの社会科学講義

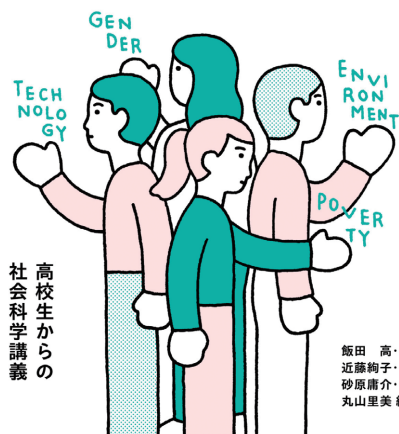
飯田 高 = 近藤絢子 = 砂原庸介 = 丸山里美 編

**担当編集から** 「最も巨視的な目で見れば、人間の社会は緩やかに望ましい方向へ向かっている。」ある著名な研究者から聞いて、希望を持ちました。けれども同時に、やはり身近なところでは様々な問題が起こっており、一つひとつ解決の糸口を探る状態にあります。あるいは解決の方法は概ねわかっていたとしても、何らかの事情でそれが実現できない状況にある場合も…。しかし、いずれにしろこの社会は私たちが何もしなければ変わらず、私たちにとって望ましい方向にも進まないでしょう。

本書は、社会科学の4つの学問分野で活躍する研究者が、4つの社会問題に対峙し、学問の格闘する様子を噛み砕いて伝えています。必ずしも解決方法は書かれていません。「望ましさととは？」と問い返す場面もあります。けれども、私たちが知性をもって社会と向き合うには、学問が必要です。成人を控える若者と、大人になってしまった私たち全員のために本書は編まれました。ぜひ手に取っていただければと思います。

(大原・岩田・四竜・渡部)

世の中を知る、考える、変えていく



飯田 高・  
近藤絢子・  
砂原庸介・  
丸山里美 編

あなたの推しはどれ？

経済学 政治学 法学 社会学

有期間

「環境」「貧困」「テクノロジー」「ジェンダー」を軸に、それぞれの学問の特色、着眼点、アプローチの仕方、問題意識を伝える。進学を志す高校生、現代社会の課題と向き合うヒントを得たい読者に。

詳細を見る



レベル — 用途 — 対象 —  
初級 学習 教養 学部 一般

2023年7月発売 / 332頁 / 定価2420円(税込)  
四六判 / 並製

**Point** 環境、貧困、テクノロジー、ジェンダーの諸問題に各分野から応答していきます。

## Part I イン트로ダクション

経済学: 効率性とインセンティブの観点から

世の中を考える(近藤絢子)

政治学: 人を動かす力から世の中を考える

(砂原庸介)

法 学: ルールの観点から世の中を考える

(飯田 高)

社会学: 現実を把握することから世の中を考える

(丸山里美)

(コラム) 社会科学のなかの因果推論 / 裁判制度

## Part II 環境

環境問題と法はどのようにかかわっているか?(島村 健)

／排出権取引で温暖化は食い止められるのか?

(猪野弘明) / 国際環境協定をどのように促すか?

(宇治梓紗) / 環境をめぐる人々の取り組みは世の中

をいかに変えるのか?(青木聡子)

## Part III 貧困

現代社会における貧困とは?(知念 渉) / 貧困問題に

法学はどのように取り組むか?(笠木映里) / 貧困を解決

するための政策の効果と副作用とは?(森 悠子) / 貧困

とどう向き合い、考えていくか?(木山幸輔)

## Part IV テクノロジー

なぜ人々は民主主義よりもAIを選ぶのか?(羅 芝賢) /

「データの私」と「生身の私」、どちらが私? どちらが私?

(高野麻子) / 人工知能(AI)とデータの時代の法学とは?

(小塚荘一郎) / AIによって未来の仕事はようになるか?

(渡辺安虎) / (コラム) 機械学習と社会科学

## Part V ジェンダー

なぜ女性は男性より賃金が低いのか?(原ひろみ) / 女性

議員が増えれば政治は変わるのか?(松林哲也) / 社会

のあり方は性別にどう関係するのか?(森山至貴) / 性別

による区別・格差に法学はどう向き合うか?(石綿はる美)

詳細は、小社ウェブサイトの本書のページをご覧ください。

